

田中二郎写真展



1970年代以前の 伝統的狩猟採集生活をおくるブッシュマン

私は1966年以来50年にわたってブッシュマンの生活と社会、文化について生態人類学的研究をおこなってきた。自然のなかにしっかりと融けこみ、動物の狩猟と野生植物の採集によって移動生活をしてきた人びとも、1980年代からはボツワナ政府の定住化政策によって、急速に近代化の道歩んでいる。

このたびの写真展では、1970年代までの伝統的な狩猟採集生活と人びとの平等分配による自然と一体となった平和な社会の様子をカラー写真によって紹介し、1万年前までの石器時代を彷彿とさせる人類の姿の一端をお見せしたい。(田中二郎・京都大学名誉教授)

2017

2018

10.30(月)～1.15(月)

9:00～21:30 初日は午後3時から／最終日は午前12時まで
(入場・観覧無料)

京都大学百周年時計台記念館
「京大サロン」展示壁面



2017

11.18(土) 16:00～17:00

田中二郎 講演会

「伝統的狩猟採集生活を送るブッシュマンの変容：1970年代から今日まで」
(入場無料・申込不要)

京都大学百周年時計台記念館2階 会議室IV

主催 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院 (PWS)
京都大学アジアアフリカ地域研究研究科 (ASAFAS)
京都大学アフリカ地域研究資料センター (CAAS)
京都大学アフリカ学際研究拠点推進ユニット



共催 京都大学学士山岳会 (AACK)
京都大学野生動物研究センター (WRC)

お問い合わせ：office@wildlife-science.org

